

札幌西・手稲健康友の会ニュース

て い ね や ま

発行所：札幌西・手稲健康友の会
札幌市西区西町北19丁目勤医協西区病院内
直通666-2877(FAX兼用)
発行責任者 坂野 悠紀子
友の会員数 11,700人(10月現在)

不安が広がる中での友の会月間



お食事会の皆さんに おはぎをお土産に訪問

にしく歯科では一この署名しました?」「友の会に入っていますか?」と医師を先頭に患者さんに声かけを続けています。月間では12名(10月14日現在)、今年度すでに32名の方に友の会に入つて頂き、友の会バス「げんき号」の利

「元気だつた！」とチャイムを押すと、「あらまあ、ほんとにお久しぶり！」と玄関を開けて喜んでくれました。9月13日、14日、コロナ以前は毎月実施していた「いきいきお食事会」の参加者を訪問しました。敬老の日が近いとあつて、お土産のおはぎを手渡すと「早くまた、お食事会によんで」と、みなさん一様にお食事会の再会を望んでいました。しかし、明らかに身体機能が落ちてしまつている方や、空き家になっているお宅、施設入所してしまつた方も多くいました。人との交流を続けることの大切さを実感した訪問となりました。

緊急事態宣言、人との接触を極力控える自粛生活が求められ、そんな中で「お元気でした」「困つてい居ことはありませんか」と声をかけ、孤立を生まず、つながりを広めようと9月、10月「友の会月間」をすすめました。

「かかりつなのにコロナワクチン打てなくて残念だった」などのお話しも頂きながら「わざわざ電話もらえてありがとうございました」と喜んでくださる方が多数いました。

西区ひまわり薬局で額診療利用者さんに生き取りを行いました。薬を渡す時に、来局さんへは事務が電話でました。「相談にのる人を取り巻く環境も病せている要因であるこました」と、薬剤師はます。

用者も増えています。電話で状況を聞き取、「運転免許証を返納しが大変。コロナで地に乗りたくない」「家に入るとコロナで面会する。自宅で介護を始めに行く時間が取れなくど、コロナ禍での影響口腔内が悪化しないよ

シリーズ 身近な健康

膀胱炎の話

ひだまりクリニック

内科医 佐藤 幸文



膀胱炎は女性に多い病気です。腸内細菌（原因菌の約7割が大腸菌）が尿道口から入るのが原因ですので解剖学的に肛門と尿道が近い女性が更容易です。

症状は

症状は排尿時に痛みがある排尿してもすぐに行きたくなる、残った感じがする、下腹

「いつでも元気」の魅力をアピールして購読してもらつた。など、『レツツ体操』をみての読者が広かりました。



『レツ』
『体操』は
気軽に見
れて分か
りやすい
と好評。
宮の沢ば
ンビ班幹
事の西谷
さんは

予防が大切で、下半身を冷やさない、トイレを我慢しない、普段から水分を多く摂る排便時は前から後ろに拭く、陰部を清潔に保つ、バランスのとれた食事をとる、アルコールは控えめ、ストレスを溜めない等に注意しましょう。

一般的には熱は出ません。尿を顕微鏡で調べると細菌数や白血球数が多くなっています。若い方の膀胱炎は基礎疾患が無く（単純性膀胱炎といいます）、水分を多く摂り、抗菌剤服用することで比較的早く治る病気ですが、慢性化を防ぐために症状が消えても処方された薬きちんと服用して下さい。

無料・低額診療制度

医療福祉課

無料・低額診療

醫療福社課長 加藤 琢也

無料・低額診療制度をご存じですか。
体調に不安はあるけど受診を控えている方、支払いに不安が

ある方はご相談ください。
年金や給料が少ない、仕事をリストラされた、借金がある。
就学援助世帯、等々様々な理由で制度を利用している方がい

ます。
判定基準。生活保護基準を用いて判定します。120%以下の世帯は医療費の自己負担なく受診することが出来ます

目安の例：60代の単身 134,000円（借家36,000円）
70代夫婦 181,000円（借家43,000円）
それぞれの状況に応じて個別で適応となるか担当の相談員が

対応させていただきます。

フラダンスサークル練習再開

「コロナ禍でフラダンスサークルは練習場所を確保するのに大変苦労しています。西病の大会議室が使用出来なくなり、「ちえりあ」を一時使って居ましたが改修工事のためだめになり、白石区民センターで始めたのですが、コロナ緊急事態宣言で区民センターが閉鎖され五ヶ月間練習が中止となりました。10月から白石区民センターが使えるようになり練習が再開されました。コロナ禍が收まり、また西病大会議室で練習出来る日が早く来る」とを皆さんに待っています。



健歩会とパークゴルフは10月で
今年の行事は無事終了しました。
来年は4月から始められるよう検討してい
ますので、元気で再会いたしましょう。

友の会 電話 FAX666~2877

このひと



現在「ふまねつど」のサークル活動を西・手稻友の会（現在休止中）昭和地区サークルと北区の3カ所でボーラーとしてサークル運営や居場所作りに参加しており、「ふまねつど」でもお年寄りとふれ合えることは樂しいと言います。体が動く限りお年寄りに寄り添つて行きたいと吉田さんは笑顔で話されます。

全日本民医連共同組織 活動交流集会 in 山梨

昨年、コロナ禍で中止になつた共同組織（友の会）活動交流集会が9月6日山梨からリモートで開催されました。全国1500力所からの参加となり、西・手稲友の会も密を避けるため分散して友の会室と個人宅2カ所で役員を中心に8名が参加しました。全国の7つの共同組織からコロナ禍での活動経験の報告があり、全国の友の会活動を知る事が出来、北海道道央健康友の会からは「つながろう」一万人対話作戦に取り組んで」が報告されました。記念講演は「コロナ禍における民医連のとり組」と題してコロナ禍での民医連の役割と取り組みについて全医連副会長根岸京田医師の講演が行われました。文化



友の会室でのリモート参加の様子



高際会長宅でのリモート参加の様子

お年寄りに寄り添って

吉田悦子さんは西・手稻健康友の会の役員と昭和班の世話人として友の会活動を支えているメンバーです。また、地域の民生委員、札幌市社協の有料ゼランティアや「ふまねつと」サークリーの活動を日常的に行っています。その活動力とフットワークの良さには感心します。

雪 虫
鉄北班 K・T

北海道では雪虫と言いますが全国各地では、綿虫、雪蚕、ゆきんこ、など色々な呼び方があり、「しろばんば」とも呼ばれ井上靖の小説のタイトルになつてゐるのもこの虫です。

正式名は「トドノネオオワタムシ」と言い漢字で「椴根大綿虫」と書きアブラナ科で普通は羽根は有りません、晚秋になり産卵する羽根のある成虫が現れ飛び回ります、これが雪虫です。5ミリ程の小さな虫で飛ぶ力も弱く風になびくので雪のように見え、熱にも弱く人の体温でも弱ります。産卵して一生を終え、この時期季節を告げる虫です。俳句では冬の季語です。ここで一句「雪虫が飛びはじめれば冬じたく」。

A black and white photograph of a white butterfly with transparent wings, resting on a dark, textured surface.

2019年は平年の10万倍の雪虫が発生。